

## 【5.国立公園満喫プロジェクトについて】

次に、国立公園満喫プロジェクトについてであります。

国では、平成 28 年に策定した『明日の日本を支える観光ビジョン』の柱の一つとして、国立公園を世界水準のナショナルパークとしてブランド化する『国立公園満喫プロジェクト』を推進しており、2020 年までに国立公園を訪れる外国人観光客を年間 1 千万人に増やす目標を掲げ、受入環境の整備や情報発信といった様々な取組を進めてきたところですが、新型コロナウイルス感染症の世界的流行が続き、多くの国で出入国制限や査証の停止などの対策がとられ実質的な鎖国状態となっている中、プロジェクトが目指した今年中の目標達成は困難な状況となっています。

現在、プロジェクトの有識者会議において 2021 年以降の取組方針などについて議論が始まっており、ウィズコロナ・ポストコロナの時代への対応として、国内誘客の強化や、ワーケーションなど新しい利用価値の提供、プロジェクトの継続・拡充のほか、新型コロナウイルスによる影響前の訪日外国人利用者の復活を当面の目標とすることなどが検討されております。

道内では阿寒摩周国立公園で、地域の協議会が策定したステップアッププログラムにより満喫プロジェクトが展開されており、また、支笏洞爺国立公園でも準じた取組が推進され、いずれも計画期限を迎えますが、このような時こそ雄大な自然景観を備えた公立公園を、心と体のリフレッシュや仕事の間などとして積極的に活用を図っていく必要があると考えます。

本道の新たな国立公園の利用のあり方も含め、道として今後、満喫プロジェクトにどのよう  
うに取組んでいく考えなのか、伺います。

(答弁：知事（環境生活部環境局自然環境課）)

- ・プロジェクトには、阿寒摩周国立公園が国内 8 か所の一つとして選定され、2020 年を目  
標として、国、道、地元自治体、関係団体などが連携しながら、施設改修や多言語化の促  
進など、外国人を含めた、誘客促進の取組を集中的に実施。
- ・国は、2021 年以降も、プロジェクトを継続し、新型コロナウイルス感染症の影響も踏ま  
え、ワーケーションなど新たな利用形態の拡大に向けた取組も進めることとした。
- ・道としては、こうした新たな形での利用を含めた、今後の公園利用のあり方とその促進方  
法について、関係機関や地域とともに幅広い観点から改めて検討し、引き続き満喫プロジ  
ェクトを推進。